

<健康安全指導部会 体力向上チーム>

【児童生徒の実態】

新体力テストにおいて、体力優秀校に選ばれるなど中学校の体力は高い。しかし小学校では種目によって違うが、全体的に県平均を下回っており、体力の低い児童の割合が高い。また、中学校でも体力が高い生徒と体力の低い生徒の二極化が見られる。

【部会のねらい】

- ・児童生徒がよりよく運動に関わろうとする意識を高めることができる。
- ・小中間のギャップを緩和する取組や各校の課題を改善するような実践を積み重ね、基礎体力の向上を図ることができる。

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

取組	体力を向上させるために準備運動に周回運動を取り入れる。また、小中間のギャップを少なくするために、中学校で行っている準備運動を小学校で部分的に取り入れる。ICTを活用した体育の授業を各校実践し、成果と課題を共有する。
成果	ICTを活用した授業の取組みを小中校間で共有することで、体育の授業で効果的にICTを利用する方法の引き出しを増やすことができた。
課題	体力を向上させるための取組みに関して、すぐには結果が出ないことから、今後も継続して取り組んでいく必要がある。また、体力テストの結果から学校ごとに苦手な種目が何なのかをよく検討して、今後の体力向上の取組みをしていく必要がある。